

授業科目名 <英訳>	考古学(特殊講義) Archaeology (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 岡村 秀典					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 後期	曜時限	月2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	雲岡石窟の仏教信仰										
【授業の概要・目的】											
中国山西省大同市に所在する雲岡石窟は、北魏の460年ごろにはじまる仏教寺院であり、東西1kmにわたって大小の石窟がひろがっている。この講義の目的は、皇帝が威信をかけて造営した大窟だけでなく、庶民が刻んだ小龕の造像についても、新しい編年にもとづいて分析し、仏教文化の東伝や中国南北朝時代の仏教信仰を論じようとするものである。											
【到達目標】											
巨大な石窟寺院の考古学的調査にもとづいて、これまでのような経典の仏教学的研究や仏像の美術史的研究とは異なる第三の研究法について展望する。											
【授業計画と内容】											
1938～1944年に水野清一・長廣敏雄らが調査した記録をもとに、5世紀後半から6世紀前半における雲岡石窟の仏教信仰について講述する。 大仏窟から仏殿窟へ 孝文帝と文明太后馮氏を象徴する石窟 480年代における民間造像の変化 洛陽遷都後の雲岡石窟と龍門石窟											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
定期試験（筆記）											
【教科書】											
水野清一・長廣敏雄1951-56『雲岡石窟』全16巻32冊、京都大学人文科学研究所（京都大学学術情報リポジトリKURENAI紅）を参照のこと。											
【参考書等】											
（参考書） 岡村秀典『雲岡石窟の考古学 遊牧国家の巨石仏をさぐる』（臨川書店）ISBN:978-4-653-04373-7											
【授業外学習（予習・復習）等】											
日頃から歴史だけでなく、思想文化にも関心をもち、異文化に対する理解を深めておくこと。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											